

# 世 界 史

## 注 意

1. 問題は全部で11ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

〔 I 〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

科挙とは、中国にはじまった、官僚を登用する試験制度である。現代の大学入学試験にも、「世界史」「英語」などの「科目」があるが、この中国古代の官僚登用制度試験にも「科目」があり、「科挙」とはこのように「科目によって人材を挙げる」ことを意味した。だがそののはじまりは古く、すでに漢代には「甲科」、「四科」といった科目による官僚登用制度があり、庶民をもその対象とした。宋代の徐天麟<sup>(b)</sup>という学者は、官僚の登用について「前漢<sup>(c)</sup>では各地からの推薦によっており、試験は行っていなかったが、後漢<sup>(d)</sup>では試験を行っており、これは後世の科挙と同じである」と指摘している。南朝にも「明経」、「射策」、「甲科」などがあり、これも「科挙」であるから、科挙の開始は漢代あるいは魏晋南北朝時代にさかのぼる。隋がはじめて科挙をはじめた、とするのは誤りであり、隋唐における官僚登用制度の重要な変化は、むしろ  法を廃止した点である。 法が廃止されたのは、隋であるという説や、唐の貞観年間<sup>(f)</sup>であるという説があるものの、いずれにしても隋唐において科挙の重要性は大きくなった。隋では、それまで様々な変化していた科挙の科目も「進士科」「秀才科」「明経科」などに安定していった。中でもこの「進士科」からは、国家のトップクラスの人材が輩出され、宋代の歐陽脩<sup>(g)</sup>、王安石、司馬光、秦檜、明代の顧憲成、清代の錢大昕や林則徐といった大政治家、朱熹や陸九淵、董其昌といった思想家・芸術家、明末のキリスト教徒の徐光啓などはことごとく進士で科挙に合格しており、ことに朱熹は19歳、林則徐は27歳で進士に合格した大秀才であった。清の統治に反対した顧炎武<sup>(h)</sup>も進士ではないが明には任官していた。

問 1 六部のうち、(a)の試験を担当したものとして、もっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ①吏部    ②戸部    ③礼部    ④兵部    ⑤刑部    ⑥工部

問 2 (b)の徐天麟はこの文章の中で、前漢を「西都」、後漢を「東都」と称しているが、それはそれぞれの首都の位置を記したものである。前漢と後漢の首都の組み合わせとしてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ①前漢 = 長安, 後漢 = 建康
- ②前漢 = 建康, 後漢 = 長安
- ③前漢 = 洛陽, 後漢 = 建康
- ④前漢 = 建康, 後漢 = 洛陽
- ⑤前漢 = 長安, 後漢 = 洛陽
- ⑥前漢 = 洛陽, 後漢 = 長安

問 3 (c)の前漢では、各地から官僚を推薦させたために、各地方の勢力が朝廷に大きな影響を与えた。この漢の高祖劉邦がとったとされる地方制度としてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ①州県
- ②郡国
- ③封建
- ④土官

問 4 (d)の後漢に関連し、首都を東に移して後漢をはじめた皇帝の名として、もっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ①劉邦
- ②項羽
- ③劉秀
- ④劉備

問 5  に入る語としてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ①監察
- ②雑役
- ③郷拳里選
- ④九品中正

問 6 (f)は西暦何年に相当するか。正しいものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。  6

①471～499年

②581～618年

③627～649年

④960～963年

問 7 (g)の時代の司馬光と王安石について述べたものとして、それぞれもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

司馬光：  7

王安石：  8

①編年体の歴史書『資治通鑑』を編纂した名文家で、王安石と政策で争った。

②編年体の歴史書『資治通鑑』を編纂した名文家で、司馬光と政策で争った。

③編年体の歴史書『資治通鑑』を編纂した名文家で、欧陽修と政策で争った。

④神宗のもとで新法を推進した。

⑤徽宗のもとで新法を推進した。

問 8 (h)の人物とともに、明末の考証学と言われる学風の成立に貢献した人物としてももっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。  9

①鄭玄

②王羲之

③黄宗羲

④柳宗元

問 9 下記【年】は、いずれもこの文章に登場する人物たちが進士に合格した年である。各人の進士合格年としてもっとも適切と考えられるものを、それぞれ下の【年】の中から選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

王安石：

秦檜：

錢大昕：

林則徐：

朱熹：

董其昌：

【年】

①1042

②1115

③1148

④1589

⑤1754

⑥1811

〔Ⅱ〕 18世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の海外進出に関し、以下の設問に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

問 1 18世紀後半のイギリスの対外政策の展開に関し、もっとも適切な記述を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **16**

- ①イギリスはフレンチ・インディアン戦争でフランスに勝利し、ルイジアナをえて13植民地を完成させた。
- ②イギリスはプラッシーの戦いで勝利をおさめ、インドの直轄統治を開始した。
- ③イギリスが太平洋に送り出したクックは、タヒチをイギリスの植民地とした。
- ④イギリスはオーストラリアへの入植を開始した。

問 2 18世紀後半、大西洋世界では奴隷貿易がおこなわれ、その影響は沿岸部だけでなく内陸部にもおよんだ。アフリカ内陸部に存在し、奴隷貿易に依存していた国家名としてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **17**

- ①ブガンダ
- ②ベニン
- ③ダホメ
- ④キルワ

問 3 フランスはイギリスに対抗すべく、ナポレオンをエジプトに派遣した。ナポレオンは考古学者を帯同したが、以後、ヨーロッパ諸国の研究者は世界各地の遺跡発掘や碑文解読に成功する。人名と事項の組み合わせとしてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **18**

- | 人名       | 事項        |
|----------|-----------|
| ①ヴェントリス  | 古代ペルシア語   |
| ②エヴァンズ   | ミケーネ      |
| ③ローリンソン  | クテシフォン    |
| ④シャンポリオン | ロゼッタ・ストーン |

問 4 イギリスは 18 世紀末、清に対して高圧的態度を示すようになる。1792 年、従来の慣例に反する行為に出たイギリス人の名前を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **19**

- ①パークス
- ②マカートニー
- ③ヒューム
- ④ネルソン

問 5 ナポレオンはカリブ海のサン・ドマング植民地を再征服しようとしたが、独立運動を鎮圧できなかった。この独立運動の指導者の名前を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **20**

- ①アギナルド
- ②ティトー
- ③トゥサン・ルヴェルチュール
- ④ヴァルガス

問 6 1820 年代、イギリスはラテンアメリカ諸国の独立を認める政策に転換した。この政策を推進した政治家の名を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **21**

- ①コブデン
- ②ローズ
- ③カニング
- ④オコンネル

問 7 フランスは 1830 年、アルジェリアに出兵し、植民地化していく。出兵を決めた国王の名を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **22**

- ①ルイ・フィリップ
- ②シャルル 10 世
- ③ルイ 16 世
- ④ナポレオン 3 世

問 8 米国も領土拡大にはしり、1845 年、( ) を州として併合した。空欄に入る地名を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 **23**

- ①オレゴン
- ②アラスカ
- ③フロリダ
- ④テキサス

問 9 フランスは 1861 年、メキシコに軍を派遣してファレスの自由主義政権を倒した。ファレスを助け、フランス軍に対する抵抗を率い、1877 年に自ら大統領となった人物名を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 24

- ①マデロ
- ②ディアス
- ③イダルゴ
- ④マクシミリアン

問10 欧米諸国は太平洋地域にも進出していった。この過程の記述としてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 25

- ①クックは 1768 年、ハワイのイギリスによる領有を宣言した。
- ②スペイン領グアムは 1898 年、ドイツ領となった。
- ③スペイン領マリアナ諸島は 1899 年、ドイツ領となった。
- ④米国は 1893 年、ハワイを併合した。

問11 ロシアは東への領土拡大を図るに際し、清といくつかの条約を結んだ。それらの条約を締結順に並べると、どの組み合わせがもっとも適切か。以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 26

- ①ネルチンスク条約—イリ条約—アイグン条約—キャフタ条約
- ②ネルチンスク条約—キャフタ条約—アイグン条約—イリ条約
- ③ネルチンスク条約—アイグン条約—キャフタ条約—イリ条約
- ④ネルチンスク条約—キャフタ条約—イリ条約—アイグン条約

問12 20 世紀初頭のアフリカ分割の状況に関し、宗主国と植民地の組み合わせとして適切ではないものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 27

- ①フランス チュニジア
- ②ドイツ カメルーン
- ③イギリス リベリア
- ④ベルギー コンゴ



問13 欧米による世界の分割は、さまざまな抵抗を引き起こした。そうした抵抗に関する記述としてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 28

- ①ビルマのコンバウン朝はイギリスとの3度の戦争を経て、独立を維持した。
- ②フィリピンは米国の支援を受け、1899年、独立を達成した。
- ③ベトナムに帰順した劉永福は黒旗軍を組織してフランス軍に対抗した。
- ④イラン政府はパーブ教徒の反乱を支援し、ロシア、イギリス勢力を一掃した。

問14 こうした抵抗の結果、ヴェルサイユ条約が結ばれたのと同じ年に独立を達成した国はどこか。以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 29

- ①アフガニスタン
- ②朝鮮
- ③タイ
- ④ベトナム

問15 帝国主義の時代は探検の時代でもあった。探検家と到達地の組み合わせとしてもっとも適切なものを以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 30

- ①ヘディン                      アンデス                      ②スタンレー                      中央アジア
- ③リヴィングストン                      ヒマラヤ                      ④アムンゼン                      南極点

問16 以下の文を時代順に並べ替えなさい。 31 32 33 34

- ①米国は門戸開放宣言に清の領土保全を付け加えた。
- ②第一次モロッコ事件が発生した。
- ③ドイツはバグダード鉄道の敷設権を獲得した。
- ④フランス軍とイギリス軍はファショダで衝突した。
- ⑤フランスはフランス領インドシナ連邦を成立させた。

31 → 32 → 33 → ③ → 34

問17 清で起きた義和団事件を鎮圧するために8か国が連合軍を派遣した。連合軍に参加しなかった国を以下の中からひとつ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。 35

①日本

②米国

③オーストリア

④オランダ

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、文章中の空欄( 1 )～( 15 )に適切な人名・語句を記入しなさい。解答用紙は(その2)を使用すること。

明朝は、民間の海上交通や交易を禁止する一方で、冊封体制によって周辺諸国との恩恵的形態をとる朝貢貿易を行った。朝鮮王朝はその主要な対象のひとつであった。14世紀末、李成桂が朝鮮王朝を樹立し、( 1 ) (現在のソウル)に都をおいた。この頃、明朝では帝位継承をめぐる内乱( 2 )に勝利した燕王が帝位につき、永楽帝として積極的な対外政策をとるようになった。朝鮮の第4代国王世宗は、朝鮮の国字( 3 )を制定し、1446年に同名の条例で公布した。当初知識人はこれを軽視していたが、19世紀末には公文書に採用されるにいたった。朝鮮半島では、科挙は高麗時代に導入され、朝鮮王朝時代には朱子学が官学化されたことによって盛んになった。朝鮮の科挙官僚は文官と武官を総称して( 4 )と呼ばれるが、やがて科挙官僚を事実上独占した家柄や支配階級の身分をあらわすものとなった。彼らは明朝の制度を取り入れた改革を行い、外交においても明朝との関係を最も重視した。

明代には「( 5 )熟すれば天下足る」といわれたほど長江中流域が穀倉地帯として発達したが、その一方で、15世紀以降は明朝の支配体制が揺らぎ始めるようになった。1449年、明の正統帝がオイラトの指導者( 6 )との戦いに敗れて捕虜になる事件が起きた。明朝は万里の長城を越えて襲来するモンゴル族と南方沿海の倭寇に悩まされていた。万暦帝の初期、( 7 )が10年間にわたり首席内閣大学士として大権を握って中央集権的な財政再建を行ったが、かえって地方の郷紳層の反発を招いてしまった。政治的混乱や民衆の反乱により明朝はその体制を維持できず、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際、朝鮮半島に援軍を派遣したが、これも結果的には明朝が衰退する一因となった。

中国の東北地方では女真が明朝の支配をうけていたが、太祖ヌルハチは、16世紀末に東北地方の女真諸部族の統一を成し遂げ、1616年に金(後金)を建国し、1625年に現在の( 8 )を都とした。息子の太宗( 9 )がその都を盛京と改称し、その後、国号を金から清に改めた。ヌルハチが創始した清朝の( 10 )は、満州人の社会制度を基盤にした軍事組織であり、行政組織と

しての性格も持つ。満州・モンゴル・漢の3軍で編制する( 10 )とは別に、順治年間には漢人の正規軍である( 11 )が組織されたが、これは明軍を再編して( 10 )を補完させるものであった。

清朝は、モンゴル・青海・チベット・新疆を中央官庁である( 12 )に統轄させたが、現地の支配層に一定の自治を認めた。チベットでは、( 13 )派チベット仏教の最高権威者ダライ・ラマが現地の指導者としてチベットを実質的に統治した。さらに( 12 )は、1689年にロシア皇帝( 14 )との間で国境画定条約を締結した際には外交を担当した。この条約はヨーロッパの国際法に準拠したと言われるが、それは当時中国に来ていたイエズス会の宣教師が通訳として関与したからである。イエズス会宣教師たちの中国文化を尊重する布教方針をめぐって、これに反対する他派の宣教師たちがローマ教皇庁に訴えたことから典礼問題が起こり、1724年に( 15 )帝によってキリスト教の布教が禁止された。







